

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

どの学年でも全体的には目標値を上回っている。校内研究の教科を「国語科」に絞り、叙述や描写を基に内容を捉えたり、想像を広げながら読んだりすることを継続した成果だといえる。

(2) 課題

漢字の定着や語句の理解に課題がある。また、相手や目的を意識して、自分の考えをまとめて文章に表現することに課題がみられた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値、全国平均正答率とほぼ同等の結果となっている。 (第4学年時)		
第5学年	目標値、全国平均正答率をほぼ上回っている。 (第5学年時)	目標値、全国平均正答率、区の平均正答率ともに上回っている。 (第4学年時)	
第6学年	目標値、全国正答率を大きく上回っている。 (第6学年時)	目標値、全国正答率、区の平均正答率ともにやや上回っている。 (第5学年時)	目標値を大きく上回っている。全国平均正答率を上回っている。区の平均正答率をやや上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字を書いたり、ローマ字を読んだりすることについて課題がみられる。	叙述を基に物語や説明文に書かれている内容を捉えることは、全国正答率を大きく上回っている。一方、相手や目的を意識して、自分の考えをまとめたり伝えたりすることに課題がみられる。	

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<5年生> - 漢字の読み書きについては全国正答率とほぼ同等である。連用修飾語の理解についてもほぼ同等である。 <6年生> - 漢字の読み書きについては目標値を大きく上回っている。言葉の理解（敬語・和語・漢語・外来語など）の理解については、目標値を下回っている。	<5年生> - 物語、説明文ともに叙述を基に内容を捉えて読むことについての正答は、目標値を上回っている。 - 相手や目的を意識して伝えたいことを明確にして書いたり、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書いたりすることについては目標値を下回っている。 <6年生> - 物語、説明文ともに叙述や描写を基に内容を読み取ることについては、全国正答率を上回るかほぼ同等であった。 - 条件に合わせ、自分の考えと理由を明確にして書いたり、構成や展開を考えて書いたりすることは、目標値を大きく上回っている。	

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現
- 平仮名・片仮名・漢字の学習は、書き順や字形に気を付けて指導し、確実に定着するようにする。 - 読書に親しみ、身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使いながら語彙を豊かにする。	- 読むことの活動では、叙述と結び付けて想像することを大切にする。また、ペアやグループで話し合う機会を意図的に設けることで、友達と対話することのよさを感じながら学習の楽しさに気付くことができるようにする。 - 書く活動では、経験したことや想像したことなどから書くことを見付けたり、書きたいことを順序立てて書いたりするように指導し、書く力が向上するようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現
・漢字の習得をより確実なものにするため、音読み・訓読みやへんとつくり等の学習を通して、漢字の面白さを感じながら、学習に取り組むことができるようにする。また、文や文章を書く際には、学習した漢字を使う習慣が身に付くよう指導する。 ・ローマ字表記の読み方や書き方を身に付け、日常使われている簡単な単語を読み書きできるようにする。	・説明的な文章では、段落や文章構成を指導し、それらを活用して文章を書く活動を取り入れることで、より理解を深めることができるようにする。文学的な文章では、物語全体を見通して、叙述を基に人物の行動や気持ちを捉え、想像を広げながら読む力を高める。 ・書く活動では、目的意識や相手意識をしっかりと持たせ、自分の伝えたいことが明確になるように、書く材料を整理したり分類したりしながら書くことができるよう指導する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現
・学習した言葉（敬語・和語・漢語・外来語など）のそれぞれの特徴や使い方などについて考え、日常的に使うように指導する。また、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やし、語彙の質を高めるようにする。	・説明文では、文章構成（序論・本論・結論）（事実と事例）などを指導し、それらを活用して文章を書く活動を取り入れることで理解を深めることができるようにする。また、書かれている文章の表現の仕方にこだわって文章を読む活動を通して、表現の効果を考えたり、文章から具体的に想像を広げて登場人物の気持ちを考えたりする力を高める。 ・書く活動では、目的や意図を明確にさせて、筋道の通った文章になるよう構成や展開を考えて書く力を高めていく。